

釧路川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～タンチョウと人が共存する釧路川を洪水から守るための治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、釧路川水系の特徴である上流部の屈斜路湖・下流部の釧路湿原など広大な自然環境がもつ貯留・遊水効果を保全するとともに、これら自然地下流の市街地の事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施し、国管理区間においては、釧路川流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和35年3月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、河道掘削
- ・下水道雨水管等の整備
- ・土砂災害対策（砂防関係施設の整備 等）
- ・治山対策、森林整備
- ・内水被害軽減対策
- ・釧路湿原や屈斜路湖など、貯留・遊水効果がある自然地の保全 等

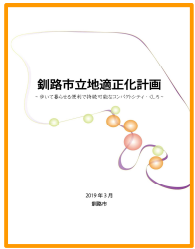


釧路湿原や屈斜路湖など、貯留・遊水効果がある自然地の保全
（釧路開発建設部、根釧西部森林管理署、釧路総合振興局、
釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村）

釧路川流域の市街地を守る河道掘削
（釧路開発建設部、釧路総合振興局）

●被害対象を減少させるための対策

- ・災害リスクを考慮した居住誘導区域の設定、まちづくり（立地適正化計画）
- ・まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討
- ・釧路川流域に建築する人への災害リスク情報の提供
- ・釧路湿原など自然地の保全 等



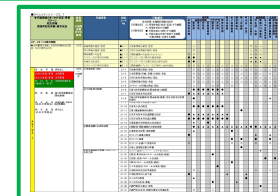
立地適正化計画（釧路市）

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・地域住民を対象とした防災研修会や避難訓練の実施
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画・訓練等に関する取組を促進
- ・水防資機材の充実・維持
- ・水害リスク空白域の解消に向けた取組
- ・ハザードマップの作成、充実と周知
- ・タイムラインの運用と精度向上
- ・幼少期からの防災教育の実施
- ・重要水防箇所の共同点検
- ・防災気象情報の利活用促進 等



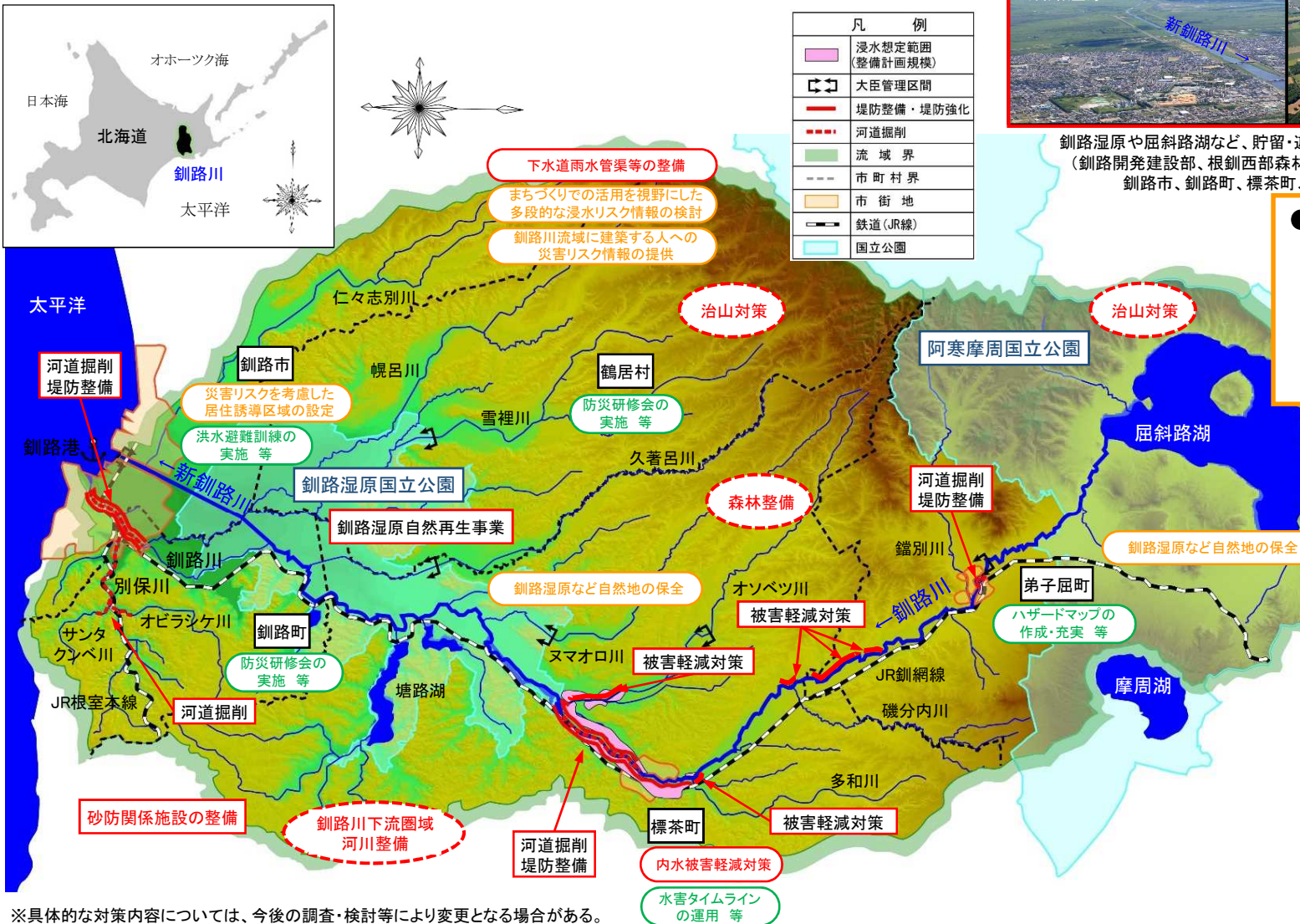
ハザードマップの作成、充実
（釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村）



水害タイムラインの運用（標茶町）

●グリーンインフラの取り組み

詳細次ページ



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

釧路川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～タンチョウと人が共存する釧路川を洪水から守るための治水対策の推進～

- 釧路川では、釧路川水系の特徴である上流部の屈斜路湖・下流部の釧路湿原など広大な自然環境がもつ貯留・遊水効果を踏まえ、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、道、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】釧路川上・中・下流部の人口・資産が集中する市街地での浸水被害を防ぐため、釧路湿原や屈斜路湖など貯留・遊水効果がある自然地の保全・再生、及び水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施するとともに、下水道雨水管渠等、砂防関係施設、治山対策、森林整備、ハザードマップの作成・充実等を実施予定。
- 【中期】釧路川中・下流部の人口・資産が集中する市街地での浸水被害を防ぐため、引き続き釧路湿原や屈斜路湖など自然地の保全・再生及び水位低下を目的とした河道掘削及び堤防整備等を主に実施するとともに、内水被害軽減対策、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策、被害対象を減少させる対策等を実施予定。
- 【中長期】釧路川下流部の浸水被害を防ぐため、水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施し、釧路湿原や屈斜路湖など自然地の保全、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策及び被害対象を減少させる対策を引き続き実施し、流域全体の安全度向上を図る。また、多自然川づくりや自然環境が有する機能活用に取り組む。

区分	対策内容	実施主体	短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	釧路川上流部の弟子屈町市街地を守る河道掘削及び堤防整備	釧路開発建設部	釧路川上流部		
	釧路川中流部の標茶町市街地を守る河道掘削及び堤防整備	釧路開発建設部	釧路川中流部		
	釧路川下流部の釧路市及び釧路町市街地を守る河道掘削及び堤防整備	釧路総合振興局	別保川、釧路川下流部		
	浸水被害を軽減し市街地等を守る下水道雨水管等の整備	釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	下水道雨水管渠等の整備		
	市街地を土砂崩壊から守る土砂災害対策	釧路総合振興局	砂防設備の整備		
	山地災害から流域を守る治山対策	根釧西部森林管理署 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	治山施設等の整備		
	森林の水源涵養機能の維持・向上のための森林整備対策	根釧西部森林管理署、森林整備センター 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	植栽・間伐などの森林整備		
	標茶町市街地を守る内水被害軽減対策	標茶町	内水被害軽減対策(標茶町)		
	釧路湿原や屈斜路湖など、貯留・遊水効果がある自然地の保全	釧路開発建設部、根釧西部森林管理署 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	釧路湿原や屈斜路湖など貯留・遊水効果がある自然地の保全		
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを考慮した居住誘導区域の設定、まちづくり	釧路市	災害リスクを考慮した居住誘導区域の設定(釧路市)		
	釧路川流域に建築する人への災害リスク情報の提供	釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	釧路川流域に建築する人への災害リスク情報の提供		
	釧路湿原など自然地の保全	釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	釧路湿原など自然地の保全		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	釧路開発建設部、釧路地方気象台 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	ハザードマップの作成・周知、防災研修会や避難訓練の実施 等		
	早期復旧・復興の体制強化	釧路開発建設部 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	水防資機材の充実 等		
グリーンインフラの取組	釧路湿原など自然地の保全 旧川復元、土砂流入対策、湿原再生、森林再生、森林整備、治山対策	釧路開発建設部 根釧西部森林管理署、森林整備センター 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	旧川復元・土砂流入対策・湿原再生、森林再生		
	魚類等の生息環境の保全	釧路開発建設部 釧路総合振興局	魚類等の生息環境の保全		
	小中学校や一般住民などへの環境学習、水辺の楽校を活用した環境学習、かわまちづくり・水辺の賑わい空間創出	釧路開発建設部 釧路総合振興局 釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村	小中学校や一般住民などへの環境学習 水辺の楽校を活用した環境学習 かわまちづくり、水辺の賑わい空間創出		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

【事業費】

■事業規模

- 河川対策 (約323億円)
対策内容 河道掘削、堤防整備 等
- 砂防対策 (約3億円)
対策内容 砂防関係施設の整備

- 下水道対策 (約20億円)

対策内容 下水道雨水管等の整備 等

※1: 国・北海道の河川整備計画の残事業を記載

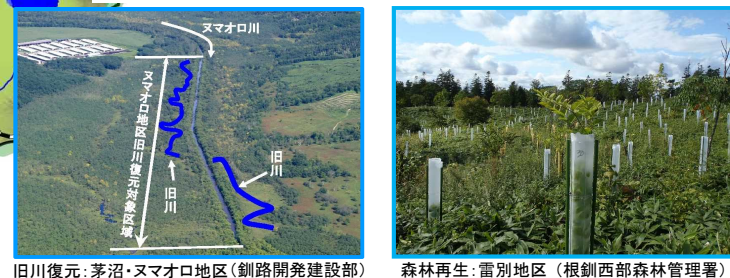
※2: 北海道による砂防事業の残事業費を記載

※3: 各市町における下水道事業計画の残事業費(雨水関連)を記載

～タンチョウと人が共存する釧路川を洪水から守るための治水対策の推進～

- 釧路川流域は、上流に屈斜路湖の阿寒摩周国立公園を有し、下流に日本最大の湿原でラムサール条約登録湿地である釧路湿原国立公園が広がっております。この広大な自然環境は、特別天然記念物のタンチョウや日本最大の淡水魚イトウなど多くの貴重な野生生物の生息場であり、貯留・遊水効果の機能を持ち、地域の観光資源もあるなど、次世代に引き継ぐべき多様な機能を有しております。
- 釧路川水系において、この地域の広大な自然環境がもつ動植物の生息・生育環境や貯留・遊水効果等の機能を保全するため、釧路湿原で、ラムサール条約登録（1980年）前の湿原環境の再生を目指して、今後、旧川復元や湿原再生の自然再生事業に取り組む等、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

-



水辺の学校、湿原環境・防災学習
(釧路開発建設部、釧路総合振興局、
釧路市、釧路町、標茶町、弟子屈町、鶴居村)



- ・イトウやサケ、シヤモ等の魚類の生息・産卵環境の保全、タンチョウやオジロワシなど貴重な野生生物の生息環境の保全
- ・地域と連携・協働した湿原自然再生活動、河川環境保全活動
- ・魅力的な水辺空間のPRや水辺利活用を促進し、地域振興を図る(かわたびほっかいどう)
- ・土砂動態など流域の物質循環を把握するための継続的なモニタリング

水際の魚類等の生息環境保全のため、洪水の安全な流下に支障とならない範囲で河畔林を保全

河道掘削(高水敷)

滞筋は改変せず魚類等の生息環境を保全

河道掘削(多自然川づくり): 河畔林・水際の保全

釧路川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

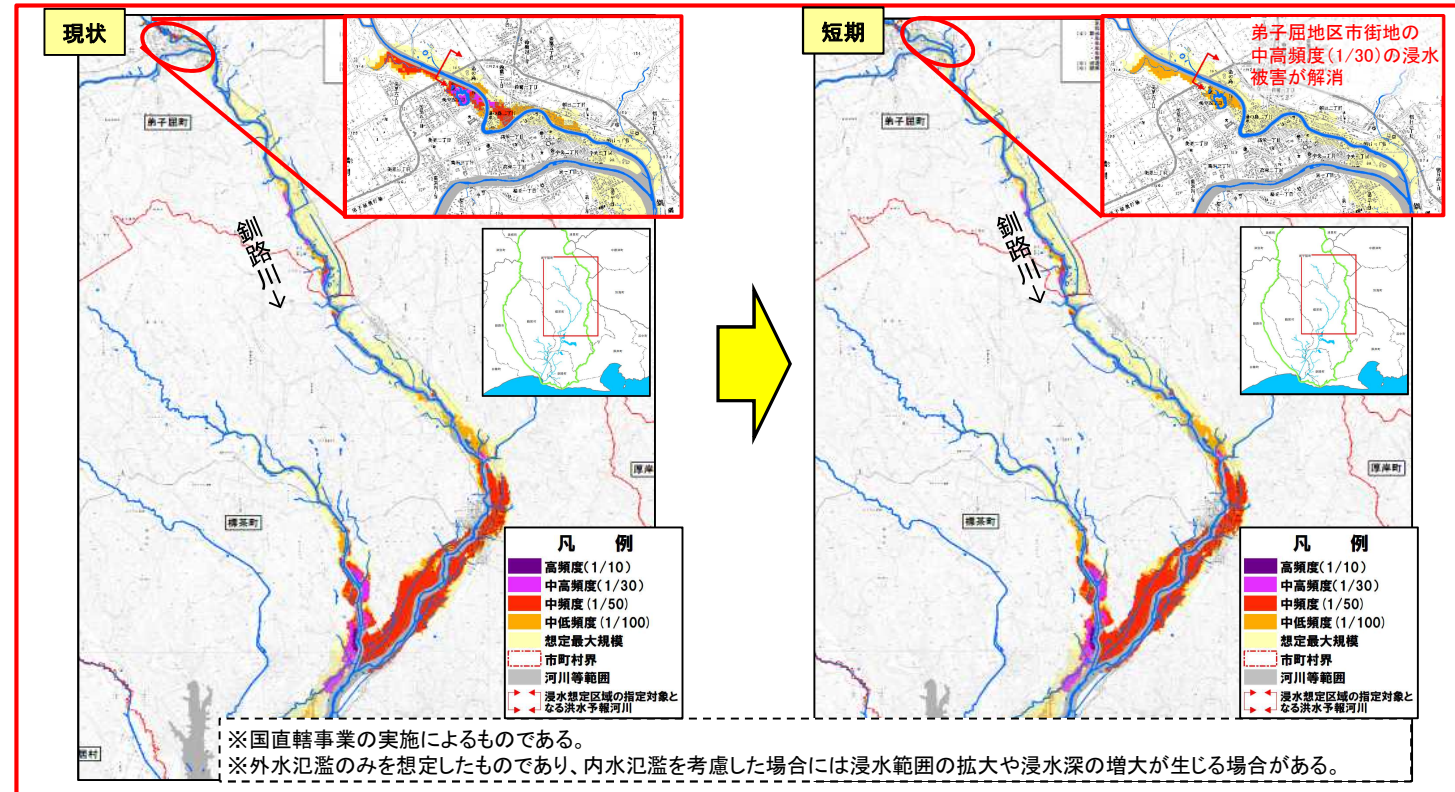
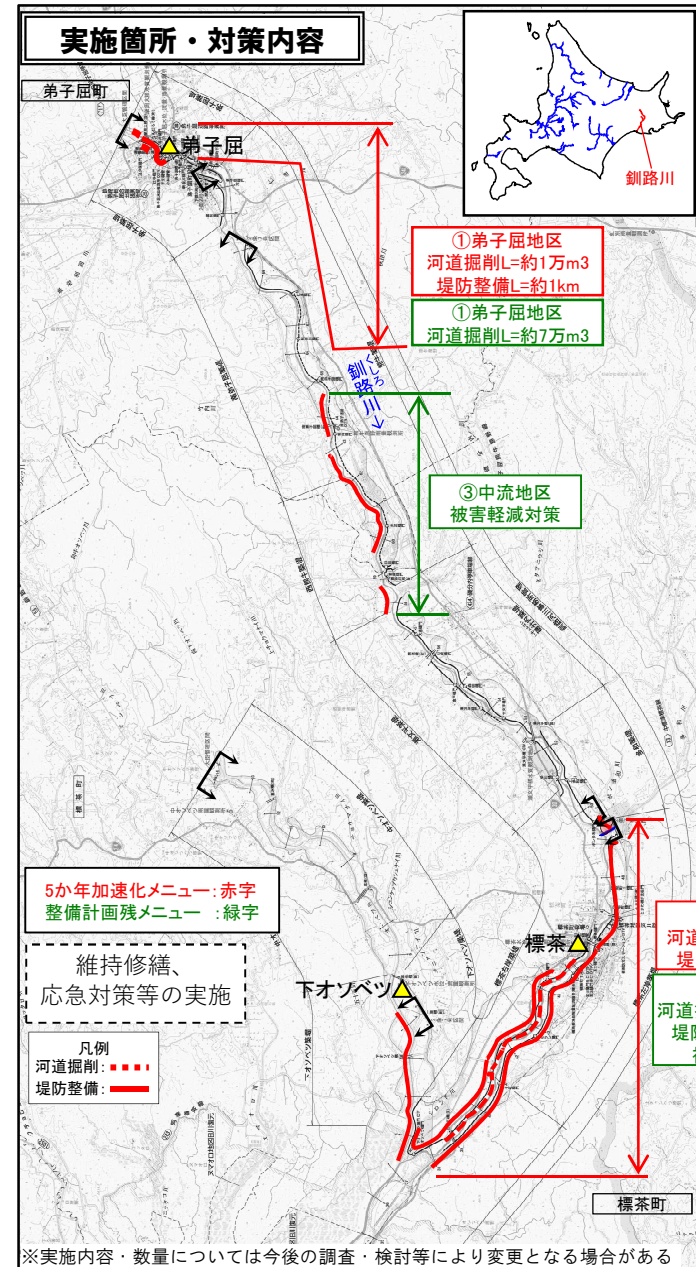
～タンチョウと人が共存する釧路川を洪水から守るための治水対策の推進～

○弟子屈地区での河道掘削等の河川改修事業がR7年までに完了することで、弟子屈市街地において、戦後最大規模となる浸水被害を解消することが可能。

短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約56%→約56%

※整備計画改定(R5.3)前の整備計画河道に対する整備率は約72%→約90%である。

※河川整備率とは、河川整備計画において定めた河道整備流量を流すことができる断面を確保している国管理区間の割合
※地震津波対策として、河川構造物の耐震化、樋門の自動化、遠隔操作等を調査検討中
※被害軽減対策の具体的な実施内容は検討中



対策内容	区間	工程	
		短期(R3～R7年度)	中長期(R8年度以降)
①弟子屈地区	掘削	13%	100%
	堤防	100%	
②標茶地区	掘削	2%	98%
	堤防	10%	90%
	被害軽減対策		100%
③中流地区	被害軽減対策		100%

【短期整備完了時の進捗】

①弟子屈地区 河道掘削 13%
①弟子屈地区 堤防整備 100%
②標茶地区 河道掘削 2%
②標茶地区 堤防整備 10%

※スケジュールは今後の事業進捗によって
変更となる場合がある。

北海道では全国でも特に気候変動の影響が大きく、
更なる対策を推進

釧路川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～タンチョウと人が共存する釧路川を洪水から守るための治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）



整備率 90%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



0市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



1施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上
および土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 2箇所
（令和4年度実施分）
砂防関係施設の
整備数 0施設
（令和4年度完成分）
※施行中 0施設

立地適正化計画に
おける防災指針の作成



0市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定 37河川
区域
（令和4年9月末時点）
※一部、令和4年3月末時点
内水浸水想定 0団体
区域
（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保 洪水 210施設
計画 ※うち流域内では162施設
土砂 15施設
（令和4年9月末時点）
個別避難計画 3市町村
（令和4年1月1日時点）

被害をできるだけ防ぐ・減らすための対策



河道掘削による流下能力の向上
（釧路川：釧路総合振興局）



雨水管の整備による内水被害
の軽減対策（釧路町）



既設治山施設の老朽化対策・
機能強化（釧路町内：釧路総合振興局）



治山ダム設置による土砂の流出抑制
（弟子屈町内：根釧西部森林管理署）



流域治水に資する除間伐等の
森林整備（森林整備センター）

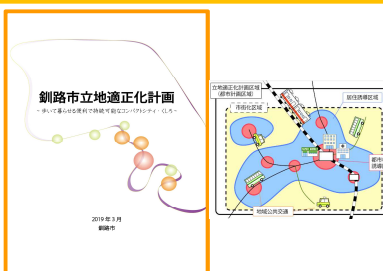


護岸工による土砂流入対策
（久著呂川：釧路総合振興局）

被害対象を減少させるための対策



様々な災害に関する情報を重ねて表示できるなど、Webを活用した災害リスク情報の提供の充実（釧路市）



立地適正化計画に基づき、災害が想定される区域も考慮して設定した居住誘導区域を活用したまちづくりの推進（釧路市）

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策



簡易な手法により策定した洪水氾濫危険区域図を用いて、従来の防災ガイドマップの補完及び更新（弟子屈町）



防災意識を高めることを目的として、中学生を対象に防災教室を実施（鶴居村）

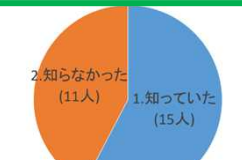


各町内会によるコミュニティタイムラインを検討（標茶町）

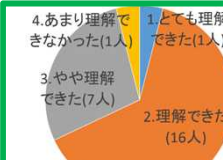


小学生を対象にしたマイタイムライン講座を実施（標茶町）

標茶町防災研修会におけるアンケート結果（流域治水について抜粋）



Q1. 流域治水という言葉を知っていましたか？



Q2. 流域治水の考え方や流域における対策について理解できましたか？



Q3. 流域住民としての役割を理解できましたか？